

特集

つづきMYプラザ もうすぐ開所10周年!

都筑多文化・青少年交流プラザ(愛称:つづきMYプラザ)は、2007年11月30日に開所し、利用者と地域のつながりを積み重ねながら、地域に根差した取組を続け、今年で開所10周年を迎えます。



ラウンジ&受付



気軽にこ来館ください!



スタッフの人も気さくで居心地がいいです。

日本語を勉強しています。

利用者さんたちの声

楽しくボランティアしています。

MYプラザってこんなところ

外国人やボランティア、中高生世代が、活動したり相談したり、気軽に立ち寄ることができる、多文化と多世代が行き交う「居場所」です。2つの機能を併せ持つ施設は、市内では都筑区のみ! 他区にはないさまざまな取組を展開しています。

国際交流ラウンジ機能~外国人を支援します~

大人のための日本語教室や外国につながる子ども*のための学習補習教室、多言語による生活情報の提供・相談、国際理解・交流イベントなどを開催しています。

*外国につながる子どもとは? ... 「外国籍」「二重国籍」「日本国籍取得者」などの状況にある子どもをいいます。



学習補習教室の様子

外国人のための生活情報「ウエルカムキット」

青少年の地域活動拠点機能~青少年を応援します~

仲間や地域の大人との交流・体験、青少年による企画運営のサポート、音楽・ダンススタジオ・ラウンジなど気軽に集える場を提供しています。



音楽スタジオはバンド練習に大人気



スタッフと気軽におしゃべり

「つづきMYプラザ」という愛称は、施設がもっと親しみやすい場所となるように、2008年に公募し、決定したものです。Mは多文化を意味するMulticultural、Yは青少年を意味するYouthです。また、ロゴマークはMYの文字とオレンジの点が、手を取り合う人や万歳する人を表現しています。



「これまで、そしてこれからも...」

二つの異なる機能を持つ意義を考え続けたこの10年。居場所づくりや体験機会の提供、地域とのつながりや信頼関係の構築に努めてきました。文化を越えて違いを認め、ありのままを受け入れることがMYプラザの理念だと考えています。

林田育美館長

MYプラザ10年のあゆみ

12月オープン

2007年

- はあとdeボランティアが始まる
- プラザニュース創刊

2008年

- 日本語ボランティア連絡会が始まる
- プラザ日本語クラスが始まる
- 思春期セミナーが始まる
- 青少年グループ利用者会議開催

2009年

- 国際理解講座 ブラジルの結婚式 何もかも手づくり!

2010年

- 日本語学習発表会が始まる あたがたいスピーチが「いっしょ」

2011年

- 計画・停電多言語ボード作成
- ボツワナ共和国と交流事業スタート
- 東京2020オリ・パラ関連事業始まる

2012年

- 外国人と防災訓練参加
- 多言語おはなし会キャラバンが始まる
- リーフレット改訂版

2013年

- 区内公立小中学校全教職員に配布

2014年

- 音楽スタジオ説明会 東京都大PLAMの協力で始まる

2015年

- 東京都大中村研究室の協力でホームページ開設

2016年

- 区立小中学校の英語で読書の会「マキルダの会」が始まる

2017年

- 開所10周年

「多世代と多文化の交差点」MYプラザの取組

13,600kmの距離を越えて 伝わる子どもたちの想い

茅ヶ崎小学校の児童とボツワナ共和国のベン・テマ小学校の児童が描いた絵画を互いに送り合う「都筑・ボツワナ交流児童画展」を、2014年から開催しています。絵画を通してお互いの国の違いを感じてみましょう。



会場	期間
区総合庁舎1階 区民ホール	12月21日(木)~27日(水)
JICA横浜	1月10日(水)~31日(水)
つづきMYプラザ	3月20日(火)~25日(日)

国際大会がやってくる! 都筑区から盛り上げよう

さまざまな国の選手が競い合う国際大会*に向けて、お互いの文化を学び、相互理解を深める文化交流講座と国際理解講座を、区役所と連携しながら2020年まで継続して開催します。



*2019年には「ラグビーワールドカップ2019™」、2020年には「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されます。

子どもたちの未来を、ともに描こう

学校関係者や外国人支援ボランティアなど、外国につながる子どもたちに関わる活動をしている人を対象に、進路や学習支援などをテーマとした「多文化共生セミナー」を毎年実施しています。国際と青少年の2つの機能を併せ持ったMYプラザならではのセミナーです。



多くの人が多世代・多文化交流



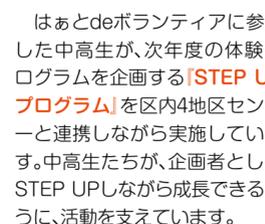
最大のイベントが、毎年3月第2日曜の「プラザまつり*」です。年齢、国籍もさまざまな人々がボランティアとして参加し、まつりを盛り上げています。国・地域・世代を超えて、お互いの文化を紹介し、お互いを理解し合う場となっています。*今年度は、2018年3月11日(日)に開催します。

この夏の体験が宝物に



毎年夏休みには、中高生を対象に「はあとdeボランティア~中高生のための夏休みボランティア体験~」を実施しています。小学校高学年向けのプレコースも同時開催し、「地域とかわる」子どもたちの挑戦の夏を応援しています。

主役は中高生! 参加から参画へ



はあとdeボランティアに参加した中高生が、次年度の体験プログラムを企画する「STEP UPプログラム」を区内4地区センターと連携しながら実施しています。中高生たちが、企画者としてSTEP UPしながら成長できるように、活動を支えています。

都筑区の国際交流の取組

ドイツクリスマスマーケットに行こう!

区内には、東京横浜独逸学園やドイツ系企業が多く立地しており、その特徴を生かして毎年12月に市営地下鉄センター北駅でドイツクリスマスマーケットを開催しています。詳しくは5ページをご覧ください。



春と秋に色づく「ローザ・つづきく」

フランスのオビニエ・スウル・レイヨン市は、貴腐ワインやバラ園で有名。1997年頃からの住民同士の交流がきっかけで「ローザ・つづきく」という新種のバラが贈られました。都筑中央公園や区総合庁舎で見ることができます。



さらなる交流を、これからも

2008年「第4回アフリカ開発会議」横浜開催の際、アフリカ各国を市内小中学校で紹介する1校1国運動で、茅ヶ崎小学校がボツワナ共和国を担当したことで交流がスタート。昨年度ボツワナ共和国独立50周年を機に、さらに友好・交流を深めていくことを確認する共同発表を行いました。



*第7回アフリカ開発会議は、2019年に横浜で開催されます。

友情の証の壁画を知っていますか?

「第4回アフリカ開発会議」横浜開催の際、アフリカ各国を市営地下鉄各駅で紹介する1駅1国運動で、センター北駅がアンゴラ共和国を担当したことで交流がスタート。両国の友好・親善の証として、アンゴラ政府文化庁から派遣された画家がセンター北駅構内にて壁画を製作、寄贈していただきました。



アクセス

つづきMYプラザ (都筑多文化・青少年交流プラザ)
〒224-0003 中川中央一丁目25-1
ノースポート・モール5階
☎914-7171 ☎914-7172

開館時間
平日10時~21時、土・日曜、祝日10時~18時
休館日
第3月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



つづきMYプラザ 検索

問合せ 区民活動係
☎948-2238 ☎948-2239